

研究室紹介 佐藤ゼミ

広島修道大学准教授 佐藤達男

広島修道大学の佐藤達男です。専門は技術経営、プロジェクトマネジメント・プログラムマネジメントです。業種ではITシステム開発が専門分野ですが、他にも事業・研究開発やUX/HCD、デザインマネジメントなどの領域もカバーしています。専門科目は、3年生の前期「プロジェクトマネジメント論」、後期「マネジメントシステム論」、「デザイン思考」を担当しています。前期の「プロジェクトマネジメント論」でプロジェクトマネジメントの基本を、後期の「マネジメントシステム論」では、P2Mをベースにしたプログラムマネジメントを教えます。

広島修道大学は、1725年に創始された広島藩の藩校を起源とし、現在は5学部9学科を有する学生数6,000人の文系総合大学です。私の所属する経済科学部経済情報学科は、「現代の経済現象や経済問題の解明を目指し、コンピュータを用いて経済社会に貢献する



人材を求める」という全国的にも特徴のあるコンセプトを持つ学部学科です。

広島修道大学では3年生からゼミで専門分野についての研究を行います。私のゼミでは、企業や社会活動におけるさまざまな問題を解決し、新たな価値を創造するための手法として、プロジェクトマネジメントを研究しています。プロジェクトマネジメントの「本



質」を理解し、自らプロジェクトを企画、計画、実行するために必要な知識とノウハウを総合的に学習することによって、将来的な専門スキルを養成することを目的としています。

3年生は「プロジェクトマネジメント論」と「マネジメントシステム論」と連動して、ゼミではケーススタディなどを通じて学生自身が調査・分析を行い、またワークショップ形式でプロジェクトの企画、計画、実行などを体験することで、現場の課題解決、価値創造活動にプロジェクト&プログラムマネジメントを適用できるように指導し

ていきます。4年生になると習得した知識等をベースに、各自が設定したテーマをより深く研究します。テーマは、企業や社会活動にプロジェクト&プログラムマネジメントを適用して問題解決を図るプロセスや手法の提案などが考えられます。ゼミ全体を通じて、ディスカッション、ワークショップなどのグループによる相互学習で進め、プレゼンテーションや成果物などの具体的なアウトプットを出していきます。

プロジェクトマネジメントは実務的な要素が強いため、「実務経験のない学生に教える意味があるのか？社会に出て相当のビジネス経験を積まないとプロジェクトマネジメントはできないのではないか？」という意見を耳にすることがよくあります。確かにプロジェクトマネジメントには経験によって

得た知見は非常に重要ですし、ビジネス経験がない学生にプロジェクトマネジメントを教えることは容易ではありません。しかし、これからの時代は、これまでの考え方や制約事項を払拭して、若くて斬新な発想をより早く形にして世の中に提示して行かなくては、市場環境や技術の進歩、多様化する消費者ニーズのなど、変化の激しい社会のスピードに対応して行くことができません。

私は、時代の潮流に対峙して、新たな価値創造と、変化に対して柔軟でかつ俊敏に適応していく術として、これからの社会に出ていく学生たちにプロジェクト&プログラムマネジメントを教えていきたいと考えています。